

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第46号

〒241-0022

横浜市旭区鶴が峰 2-1-16

☎045-953-6727

2016年 5月1日 発行



ほっとぽっとでの対話を通して感じた事

神奈川病院 臨床検査技師
佐藤 克栄

私は、神奈川病院で臨床検査技師の仕事をしています。病院から依頼を受けてほっとぽっとに出向いたのは昨年11月25日でした。1時間30分の時間をいただき、ほっとぽっとに通われている方々と、検査に関することや、ご自分の検査結果を踏まえた日常生活などの対話をさせていただきました。具体的には、血糖値が高い場合の食生活や、コレステロール値や中性脂肪値の高い場合の運動の取り入れ方をはじめ、胃カメラの検査、就労の悩みなど、対話の内容は多岐にわたりました。皆さんとても真剣で、健康や生活に対する関心の高さを感じました。私は、この時、対話した方々と初めてお会いしたのですが、とても和やかな雰囲気、1時間30分という時間はとても楽しく、あっという間に過ぎてしまいました。後に、参加してくださった方から「対話は好評だったよ」という言葉を頂き、とてもうれしかったです。

私は、普段は、病院に通われている患者さんの血液や尿などの成分を調べたり、採血、超音波、脳波、心電図などの検査をしています。毎日、検査を通じて多くの患者さんと接していますが、その時間は検査をする時間に限られてしまいます。ときどき、患者さんから、検査に関する質問や、日常生活に関する悩みなどを聞くことがあります。ゆっくりと時間をとお話しすることはできませんが、そのような中でも、私は、「ホスピタリティマインド-おもてなしの心」や、「カウンセリングマインド-人間関係を大切に、相手の心構えを和らげる」といったことを意識しながら、少しでも患者さんの気になることや、不安などを和らげることができるよう心がけています。しかし、次々に検査に訪れる患者さんの待ち時間を減らすことも大切であり、悩みや不安を言葉にしてくださる患者さんにきちんと対応できていないのではないかと感じる事も少なくありません。今回ほっとぽっとでの対話を通して、当院でも、検査に関する内容も含め、患者さんやご家族の気になることや悩みなどをゆっくりと話し合え、個々のニーズが変化している状況でその変化に対応していきたい。

個々が求める医療が多様化している中、変化に対して敏感に感じとり
対応する臨床検査技師を目指し、質の高い医療を提供したいと思います。





新年会 3月のやみなべ会報告

國井 淳子

新年会は例年通りの鍋の日でした。今年も何種類かの鍋を用意して、にぎやかにハフハフしながら食べ、飲み、話すことができ、大変楽しくも有意義な時間を過ごすことができました。

そこで出てきた話から実現したのが3月のやみなべ会。地域の方にも参加していただくとう利用者さん、職員がいつもお世話になっている近所のコンビニのSさんに声をかけました。コンビニでひそかに見守ってくれているSさん、二つ返事で参加してくださいました。

ほっとぼっとにいらしたSさんは前の時(ご存知でしょうが前身は診療所でした)は知っていたけれど、ほっとぼっとになってから中に入るのは初めて、とのことでした。今回はお弁当をいただきながらの2時間でしたが、Sさんのいろいろなお話を伺ったり利用者の皆さんからの質問が出たりとあっという間に時間がすぎてしまったような気がします。「今日、ここで皆さんとお話できて元気をいただきました。明日からも頑張ってお店に立てます。気軽に声をかけてくださいね」Sさんからのメッセージでした。

この地区は本当に地域の方に恵まれていると実感しました。Sさんは決して特別な人ではありません。見守り見守られ、おたがい様の気持ちを持って暮らしていけるって素敵ですね。



会費納入のお願い

今年度の年会費の納入をお願い申し上げます。事務局に直接お越し頂くか、郵便局へお振込みください。郵便局の振込み用紙は後日、総会資料と共にお送りいたします。また、退会希望の方、所属・住所変更をなさる方は必ずご連絡ください。

なお、すでに会費をご入金いただいた場合には何卒お許しください。

市民の会独自の活動を進めていくために、皆様のご支援を今後も必要としています。よろしくお願いいたします。

個人正会員 (年 6,000 円・当事者 3,000 円)

賛助会員 (年 3,000 円・当事者 1,500 円)

団体会員 (年 30,000 円)

郵便局お振込先

口座記号番号：00280-6-132476

加入者名：特定非営利法人

共に歩む市民の会



第17回 旭区精神保健福祉センター



スタッフ 塚田 千明

まだ寒さの残る2月27日、旭公会堂にて第17回旭区精神保健福祉セミナーが開催されました。数年にわたり担当を務めてきた私個人としては、実は当日までヒヤヒヤしていました。・・・というのも前々回のセミナーが大雪で中止となってしまったからです。なんとか天候にも恵まれ無事当日を迎えることができ、開演前から既に終了したかのようなホッとした気持ちの自分がいました。

今年度のセミナーは「変化」のあった年でした。より地域へ、より一般市民の方が参加しやすいセミナーを目指し、作り上げていきました。変化の一つとして、これまで区内精神保健福祉団体が主だった実行委員会に、地域の視点を持った方々——地域ケアプラザの地域コーディネーターや民生委員の方、ヘルパー事業所の方などにお声かけし、実行委員にご参加いただきました。地域に近い立場の方々のご意見は、普段気付くことのできなかつた視点からのご意見も多く、結果として120名（前年度より61名増）の一般の方の参加に繋がったのではないかと思います。

さて、話は変わりますが、今回は（も？）ほっとぼっとメンバー、共に歩む市民の会より実行委員会に参加し、大活躍されました。

実行委員長を務めた共に歩む市民の会・和田公一さんは講師選定の場面で、ご尽力いただきました。例年、交渉がうまくまとまらず苦勞する講師の選定ですが、「僕、メル友だから」と、今回お越しいただいた日本福祉大学・青木聖久教授を推薦・交渉していただき、テンポよく話がまとまりました。和田さんの人脈と人柄が成せるワザですね。

体験発表では北澤浩美さんが登場し、震災当時の状況を病気を抱える北澤さんの視点を通して語られました。会場からの反響も多くあった彼女の発表では、つらく、大変な状況でも「人とのつながり」を持つ安心感が心の支えになるのだと感じることができました。

全体では司会に昨年の実行委員長を務めた向山淳子さんが勤め、ちょっぴり天然を発動しながらも、上手に会場をまとめられていました。

今回のセミナーに関わり改めて感じたことは、ほっとぼっと・共に歩む市民の会だけでなく、多くの参加団体から職員と共に当事者も関わり、共に作り上げていくことが旭区のセミナーの最大の特徴なのということです。この特徴を生かしながらセミナーを続けていくことは容易なことではないかもしれませんが、しかし、当事者には計り知れない経験と力があることを信じ、具現化する場が多くないことも事実です。そんな『当事者が輝ける場』が、これからもより良い形で発展していくことを楽しみにしたいと思います。

当事者アンケート報告

「当事者が明るく楽しくよりよく過ごすためのアンケート」に協力して下さった皆様、大変ありがとうございました。ボリュームと書く欄が多いことで大変だったでしょうが、たくさん書いていただいております。現在、傾向と解析を行っています。途中経過がまとまりましたら、またご報告いたします。

理事長 深井 浩治

～共に歩む市民の会 総会のお知らせ～

6月11日（土）午後 ぱれっと旭 にて開催

Ⅱ部（後半） 「当事者ニードアンケート調査報告」ほか

この度、ほっとぽっと利用者だけでなく、家族会・病院・作業所など各方面の協力を頂き、当事者アンケートを実施いたしました。その結果を皆さんに報告し、さらに話し合えたらと思います。ぜひご参加ください(^◇^) 詳細は後日ご案内いたします。〈事務局〉

研修委員会報告

今、何故研修委員会なのか

理事 小田 敏子

「共に歩む市民の会」では、研修委員会が動き出しています。1月26日、3月1日、4月5日と、おおよそ1か月に1度の頻度で開かれています。委員はピア2人、職員2人、理事2人と、それぞれの立場から参加をしています。

発端は、昨年起きた「苦情問題」でした。「苦情」とは、利用者が職員に対して行う抗議のことで、当会のような福祉サービスを事業としている団体ではどこでも有している制度です。

苦情担当理事が、数か月に渡り、当事者や周辺の人たちの聞きとりを行い、第三者委員も含めた解決の場を経る中で、職員間の溝、職員の意識の問題などが明らかになってきました。これを受け、理事会の論議のもとで、研修委員会が生まれました。

ピア、職員、理事、皆が本気で語れる研修会をしよう！！

しかし、研修会だけが目的ではなく、研修会を作る過程を大事にしたい。研修会委員の中でも疑問が出されたら、とことん話し合っていきたい。という考えで委員会はすすめられています。

第一回目は、たまり場時代のことや「ほっとぽっと」立ち上げの頃の話が話され、運営が経過する中で、少しずついろいろなことが変わってきたことなども話されました。第二回は理事会の在り方、第三回は、職員がかかえている問題などが話されました。

お互い、少しいやなことでも相手に伝え、時に感情的になっても、決裂には到らない、という体験が、この研修委員会ですればよいなど、私は思っています。

サークル紹介

ほっとぽっとでは、自主サークルとして《パッチワーク》《卓球》《ソフトバレー》《音を楽しむ会》の4グループが活動しています。今回はその中から、卓球に参加している方の声を伺いました。

卓球サークルは、皆で和気あいあいと練習しています。旭区ふれあいスポーツ大会では、初年度、特別賞で、その翌年から優勝し、昨年三連覇しました。試合前は練習にも熱が入り、真剣に取り組んでいます。ただ、今年はリーダー山城さんが完全に不在になり、メンバーは困惑状態です。

私個人としては、初年度、ピンポンよりひどいレベルだったため、自前コートを持つセンターをはしごして、武者修行の旅に出たり、ラポールという体育館で個人練習を重ね、小さい試合で、金メダルをまぐれに一個頂きました。スポーツ屋さんのレッスンにも足しげく通いました。

これからの希望としては、卓球を楽しみながらスポーツを通じて親睦や交流が深まればいいと思います。サークル活動を仲良くゆとりを持ち、熱が入り過ぎないようにさじ加減をし、ほどほどに活動していきたい所存です。なお、ほっとぽっとのメンバーさんたちがもう少し興味をもって、おめでとうと一声かけてもらいたいです。

プロの試合、全日本卓球選手権大会や世界卓球の試合観戦など、興味が増えたのが一層の生きがいとなっています。

メンバー 小島 優子



施設見学

保土ヶ谷区生活支援センター



1月下旬、広報担当の二人が保土ヶ谷区生活支援センター（通称かるがも）にお邪魔しました！案内してくださったのは職員の前沢さんです(^◇^)

〇行ってきました、かるがも。ほっとぽっとの利用者さんも夕食でお世話になっている方が多数いらっしゃるようでよく名前だけは聞いていました。

星川駅から程近く、立派なビルの一角が保土ヶ谷生活支援センターでした。第一印象はとにかく明るく、清潔感あふれていること。南側に大きく設けられた窓が印象的でした。訪問日は運悪く利用者さんが出払っている日だったので少しがらんとした雰囲気でしたが広いスペースとたっぷりの陽射しがうらやましく感じられました。

でもほっとぽっとのわさわさした雰囲気を妙に懐かしく感じたのも事実です。それぞれ一長一短、という当たり前のことに気づかされました。（國井淳子）

〇サークル活動や行事も多数行われていました。昨年より、夕食提供の回数やイベントを減らしたりして、個別相談やアウトリーチ、計画相談の時間を捻出しているという話を聞き、ほっとぽっと同様、センター内の機能の維持・充実の必要性を感じながら、実際のところ個別の相談や訪問の時間を作るために苦勞されていることを実感しました。忙しいなか、見学とお話を聞かせて頂きありがとうございました。（清水かおり）

※会員の皆さん、広報ではこれからも施設見学をして皆さんにご報告できればと思います。ご意見ご感想ありましたら、ぜひお寄せ下さい(*´▽`*)

ヨコハマアートサイト2015報告会に行ってきました

スタッフ 宮地 博美

地域のアート活動を応援する「横浜市地域文化サポート事業（ヨコハマアートサイト）」、2015年もアート好きな29団体が横浜各地でさまざまなイベントを展開しておりました。その中に混じって、当法人の文化活動“ほっとたつはな亭”も、当事者発信の文化班ギャラリーやコンサートやワークショップを展開してきました。その報告をいつも和田公一さんがしてくれますが、今回、アートサイト参加が最後という事もあり、引退宣言と共に、ある詩人の詩を朗読…というか渾身のパフォーマンスで衝撃を与えてきました。

振り返れば2010年から、毎年ドキドキしながら申請書を提出し、アーティスト的な方達に刺激を受け、交流したアートサイト。いつだったかは、アフリカのアーティストがほっとぽつとにやってきたこともありました。福祉の枠から飛び出して、たくさんの出会いがありました。

障害をオープンにして参加し、当事者の思い～偏見や差別、心の叫び～をぶつけた企画を発信することで、区内のイベントや発表とは違う手ごたえを感じる事が出来ました。

2016年度も、変わらず 文化活動“ほっとたつはな亭”を、応援よろしくお願いします。

★やみなべ会のご案内

市民の会では会員のつどい（やみなべ会）を隔月第4or5水曜日の18:30~20:15に開催しています。

今後の予定：5月25日、7月27日の18:30~ほっとぽつと本館2階 です。

《理事会報告》(第51回) H27年12月18日(金) 18:30~21:00 理事10人出席

- ① 職員雇用について②退院促進サポート事業について③基幹相談支援センターの動向と今後について
- ④苦情対応報告及び検討事項…担当理事より経過と課題について報告があり、課題については理事・職員・当事者が一緒に検討する研修会を持つ。どのような研修会とするかを検討する実行委員会を3者で持つ事など、市民の会として何が課題なのかざっくばらんに話し合われました。

(第52回) H28年2月16日(火) 18:30~21:00 理事8人出席

- ① 健康福祉局実地指導監査の件②H27年度ほっとぽつと決算について③H28年度ほっとぽつと運営事業計画・予算などについて審議が行われました。

編集後記

- ❖今年の桜は、雨や気温の低い陽気の中、けなげに満開でした。市民の会も前途多難ですが、なんとか、かれんに咲けたら良いな～。当事者ががんばると思いま～す(高野)
- ❖もう何年も桜の時期に実家に帰る機会が無かったのですが、先週所用で帰省し、実家の庭の桜の花を初めて見る事が出来ました。ささやかながら家でお花見ができ、贅沢な気分でした♪(早間)
- ❖皆さんいつも原稿依頼を快く受けてくださり本当にありがとうございます。新年度もどうぞよろしくお願い致します(*^_^*) (清水)